

信州のみち

vol.22

豊かな地域づくりをめざして

巻頭言

道路ネットワークの確実な構築

長野県道路整備期成同盟会 会長 丸山栄一

時の話題

高規格道路松本糸魚川連絡道路「安曇野道路」の新規事業化について

長野県建設部 道路建設課

住民目線・双方向で行う公共事業での戦略的広報
～白馬村無電柱化事業のPR～

長野県大町建設事務所

一般県道栗林宮田停車場線 駒ヶ根市～宮田村 大久保橋

供用箇所の紹介

国道152号 伊那市栗田～四日市場バイパス開通

伊那市長 白鳥 孝
栗田・四日市場バイパス対策委員会 委員長 守田直人

主要地方道長野真田線 長野市松代バイパス開通

長野市・上田市真田町間主要地方道改良促進期成同盟会
会長 長野市長 荻原健司
松代地区住民自治協議会 顧問 窪田文明

一般県道塩田仁古田線 上田市五加工区完成

上田市長 土屋陽一
五加自治会県道拡幅検討委員会 委員長 藤井博人

一般県道栗林宮田停車場線 駒ヶ根市～宮田村大久保橋開通

天竜川護岸改修促進期成同盟会 会長 駒ヶ根市長 伊藤祐三
宮田村長 小田切康彦

地域の道から

道の駅の紹介

信州新野千石平・花の駅千曲川
信州道の駅交流会

信州ふるさと道のふれあい事業 (アダプトシステム)

豊科区 (茅野市)

道路事業功労者表彰

ホクシン工業株式会社・花咲く村づくりの会・筑北村商工会





道路ネットワークの確実な構築

長野県道路整備期成同盟会 会長 **丸山 栄一**

長野県内道路の整備改良の促進を目的とする本同盟会の活動に対しまして、日頃より深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、道路整備をめぐる活動は、近年コロナ禍の影響を受けておりましたが、昨年は、5月に道路整備促進期成同盟会全国協議会（道全協）の全国大会が3年ぶりに、10月に全国道路利用者会議（全道利）の全国大会が2年ぶりに札幌市で開催されるなど、活動がコロナ禍前のレベルに戻りつつあります。こうした状況を契機に、本同盟会としても、11月の「安心・安全の道づくりを求める全国大会」にあわせた臨時会を東京の砂防会館別館で開催、国会議員や国土交通省の皆様への要望活動とあわせて、多くの市町村長の皆様に御参加いただいたところです。

さらに、本年10月には、全国から地方自治体やユーザー関係者を集めて長野市で全道利第73回全国大会が開催されることになっており、盛大な大会となるよう、本同盟会としても準備を進めてまいります。

一方で、最近「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の対策期間後の新たな財源確保、資材価格の高騰への対応等が課題となっており、道路整備に要する予算の十分な確保に向けて引き続き取り組んでいく必要があります。

こうした中、国の令和5年度道路関係予算において、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく取組を加速化・深化させるため、令和4年度補正予算と合わせて、重点的かつ集中的に対策を講じる財源が確保されたことは、道路整備に対する我々の強い思いが反映されたものであり、ありがたく感じています。

今後は、こうした財源も有効に活用しながら、県土の骨格を形成する高規格道路から生活に密着した市町村道に至るまで、県内の道路ネットワークを確実に構築していくことが重要と考えています。

本同盟会では、災害に強い道路整備と、道路施設の老朽化対策が着実に推進できるよう、要望活動や広報活動に努めてまいりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

長野県建設部 道路建設課

高規格道路松本糸魚川連絡道路「安曇野道路」の新規事業化について

松本糸魚川連絡道路の安曇野市新設区間である「安曇野道路」(延長約4.0km)が令和4年度から新規事業化となりました。「安曇野道路」の事業着手は、松本糸魚川連絡道路の早期完成に向けた第一歩であり、地域と連携しながら円滑な事業推進を図ってまいります。今年度から工事実施に向けた調査・設計を進めております。



安曇野道路位置図



安曇野道路完成イメージ図(三川合流部付近)

住民目線・双方向で行う公共事業での戦略的広報 ～白馬村無電柱化事業のPR～

1 はじめに

公共事業は、地域住民の皆様だけではなく多くの方々の理解を得ることが不可欠ですが、現状では、事業目的等を十分に理解していただくまでには至っていない状況です。一因として、行政からの情報発信が弱く不十分であるということが考えられます。

そこで大町建設事務所が実施中の無電柱化事業を戦略的広報の重点箇所として選定し、「住民目線・双方向」を意識して実施した広報の取組を紹介いたします。

2 概要

「事業目的等をより多くの方々に理解を得ること」、「建設業・白馬村への関心を高めること」を目標に以下の内容を実施しています。

(1) 情報発信・質問募集

Twitterなどで親しみやすく、わかりやすい情報発信を行っています。また、質問募集により、住民の皆様が必要としている情報を把握し、発信することが可能となりました。

Twitterの投稿例

◆【Hakuba1110】とタイトル付け
→ほかの広報と差別化
当事業の投稿であることが一目で分かる

◆専門用語を使わない
→内容の分かりやすさ

◆「クイズ形式」で投稿
→“双方向”のやりとりが可能
コメントや引用リツイートで反応が分かる

質問募集

基本的な質問

「全国でどれくらい実施していますか」
「電柱があるところとないところの境目はどうなっていますか」
「電線は無くなりますか」

当然と思っていること
実は知られていない

専門的な質問

「地震の時の影響はどの程度考慮されているのでしょうか？」
「自然環境や住宅環境への影響はありますか」

“双方向”を意識した
発信大切！

(2) PRイベント開催

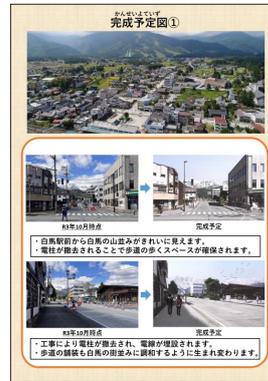
無電柱化の日（11月10日）に近い、11月4日の白馬村文化祭に合わせて「白馬村無電柱化事業PRイベント2022」を開催し、パネル展示等により当事業に関するPRを行いました。

来場者数：2,000名

はたらく車試乗会：400名
パネル展示：200名



展示パネル例



分かりやすさの工夫

事業に関するパネル展示

- ◆ 工事現場へ赴き、取材
- ◆ 写真中心・分かりやすい表現
- ◆ 「管路」の実物展示
- ◆ 質問募集への回答

“双方向”のやりとりを実現

(3) PRロゴマーク募集

多くの方々にデザインを考えることを通じて、当事業や白馬村の魅力についての理解を深めることを目的に、PRロゴマークの募集を行いました。最優秀賞、審査員特別賞は、マンホール蓋デザインとして採用することとし、全国から209件の応募がありました。また、そのお披露目と当事業に合わせ地元で設置した街路灯の点灯式をJR白馬駅開業90周年イベントで行い、地域の賑わいにも寄与しました。



最優秀賞



審査員特別賞

(4) 現場見学会

白馬村の小学生を対象に工事現場の見学会を開催し、事業・工事に対する理解を深めていただきました。



見学会の様子



PRロゴマークを活用したグッズの配布

3 まとめ

行政から一方的に広報をするのではなく、住民目線に合わせ、双方向のやりとりを意識して取り組むことで、多くの方々のより深い理解につながるものと感じました。今後も、「住民目線・双方向」を意識した広報を積極的に推進してまいります。



**国道152号 栗田～四日市場
バイパスの開通に寄せて**
伊那市長 白鳥 孝

長年の悲願でありました一般国道152号栗田～四日市場バイパスが、平成23年の事業着手から9年余の歳月を経て完成しましたこと、大変うれしく思います。

現道は狭隘な幅員かつ線形不良、また歩道が未整備など、地元はもとよりこの地域を通行する多くの方が改良を待ち望んでいました。

この度のバイパス開通により、安全で円滑な交通や歩行者の安全が確保され、また、高遠城址公園の桜や南アルプスなど観光地への交通の流れも向上し、地域の発展に大きく寄与するものと期待しています。

結びに、ご尽力いただいた長野県をはじめ、大切な土地をご提供いただいた地権者の皆様や関係各位のご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。



栗田・四日市場バイパス対策委員会
委員長 守田 直人 様

**国道152号 栗田・四日市場
バイパス開通に寄せて**

この度は待望しておりました国道152号栗田・四日市場バイパスが、令和4年2月に開通を迎えることができました。

当地域は、道路の両側に住宅が建ち並び、道幅も狭く、交通量の増加による沿線住民の安全面への対応に苦慮しておりましたが、開通により、地域住民の利便性、安全性が向上し安心して生活できることが期待されます。

関係する多くの皆様のご尽力により、開通を迎えることができましたことに、心より感謝申し上げます。



**主要地方道長野真田線
松代バイパス開通に寄せて**

長野市・上田市真田町間主要地方道改良促進期成同盟会
会長 長野市長 荻原 健司

主要地方道長野真田線「松代バイパス」の建設に当たりご協力いただいた地権者の皆様、また、これまで事業推進に多大なるご尽力をいただいた長野県をはじめ関係の皆様から心から感謝申し上げます。

「松代バイパス」の開通により、住宅が連担する松代の中心市街地における混雑緩和や大型車の通行量の減少など、一層安全・安心な交通環境が実現したことは、整備促進を強く願っていた当同盟会にとりまして大きな喜びであります。

交通環境が整備されたことで、真田十万石の城下町・松代の観光振興や広域的連携による地域経済の活性化にも大きく寄与するものと期待しております。



松代地区住民自治協議会 顧問 窪田 文明 様

**主要地方道長野真田線
松代バイパス開通に寄せて**

令和4年3月、善光寺御開帳と真田信之入部400年の年。関係の皆さまのご尽力により、両側に歩道と自転車道がついた松代バイパス2.9キロが開通しました。町内の渋滞が解消し、住民の通勤や通学、買い物や通院が安全便利になり、ウォーキングやサイクリングを楽しむ人も見られます。今後、経済や観光への役割も期待しております。



**一般県道塩田仁古田線
上田市五加工区における
道路改築の完成に寄せて**
上田市長 土屋 陽一

本路線は、塩田地域と川西地域を結ぶ生活道路として、6千台程の車両の往来があるほか、通学路に指定され、多くの児童が利用しております。しかし、幅員が狭いうえ、危険な交差点が連続し、歩道も無いことから、道路改良の実施について、地域の皆様と共に県に要望してまいりました。

人家が連担する区間でありましたが、着手から6年という短期間で、踏切改良、また、両側歩道を含む道路拡幅が完成いたしました。歩行者を含めた安全性が格段に向上し、地域の長年の懸案が解決いたしました。県及び地域の皆様の御尽力・御協力に心から感謝申し上げます。



五加自治会県道拡幅検討委員会
委員長 藤井 博人 様

**一般県道塩田仁古田線 上田市
五加工区の完成に寄せて**

当地区内の県道は、幅員が狭く車のすれ違いが困難で、歩道もなく特に高齢者や子供たちの通学には危険を伴う場面が多々ありました。

また、近くの工業団地への通勤者の往来等が多く、特に朝夕は渋滞しておりました。この現状を解消するため、長野県及び上田市や地権者並びに工事関係者のご尽力により拡幅工事が完了し、安心して通行できるようになりました。整備された道路施設に地域住民は、心から喜び感謝しております。



**新しい大久保橋開通に
寄せて**

天竜川護岸改修促進期成同盟会
会長 駒ヶ根市長 伊藤 祐三

ふたつのアルプスの美しい山並みと天竜川の流れる自然豊かな駒ヶ根市と宮田村に架かる新しい大久保橋が開通いたしました。

これまで、同盟会として天竜川の狭窄部である大久保地区から太田切川の間護岸改修と、昭和38年の架設から50年以上が経過し老朽化する一般県道栗林宮田(停)線の大久保橋の架け替えの二つの大きな事業を国県に要望してまいりました。平成24年に事業化が図られ令和4年3月12日に開通を迎えることができました。

新しい大久保橋がこの地域の発展に大きく寄与することを願い、これまで事業推進に当たられた国県関係者をはじめ、貴重な用地を提供していただいた地権者の皆様、安全かつ確実に工事を完成された工事関係者の皆様、本事業の推進にご指導ご支援またご尽力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。



**一般県道 栗林宮田(停)線
宮田村 大久保橋開通に
寄せて**

宮田村長 小田切 康彦

一般県道栗林宮田(停)線の天竜川に架かる大久保橋は、現在の橋が昭和38年に架設されて以降、宮田村と駒ヶ根市竜東地区をつなぐ地域の重要な橋として利用されてきました。しかしながら、老朽化はもとより幅員も狭く、また、架橋の場所が天竜川の狭窄部となっているために、上流部に位置する大久保区ではたびたび浸水被害が発生し、治水対策としても早期の架け替えのお願いをしてまいりました。

宮田村としまして関係機関と平成13年に同盟会を設立して以降、多くの皆様の願いがようやく実を結び、この度大久保橋が完成・開通の運びとなりました。新しい橋が、地域経済のさらなる発展に寄与することを期待するとともに、事業を進められた国、県や工事の関係者をはじめ、貴重な用地をご提供いただいた地権者の方々など、ご協力を賜りました全ての皆様に感謝を申し上げます。



道の駅の紹介



信州新野千石平 (阿南町)

遠州街道の宿場町として栄えた阿南町新野地区。標高800mの千石平と呼ばれる高原の中心部に位置しています。気候風土を生かした土地ならではの加工品・特産品・農産物がたくさんあります。



また、新野地区には、国重要無形民俗文化財に指定された「新野の盆踊り」と「新野の雪祭り」があり、道の駅駐車場には、「新野の雪祭り」に登場する五穀豊穡を司る神様「幸法」(さいほう)が、訪れる皆様をお迎えます。



令和2年4月1日より、直売所の増設、休憩施設・飲食店を新たに新設しリニューアルオープンいたしました。是非一度お出かけ下さい。



HPアドレス : <https://goheimochi.kouiki-anan.jp/>

花の駅千曲川 (飯山市)

2022年10月14日にリニューアルオープン。

国道117号沿いに位置し、山々の景色などを楽しめる眺望抜群の道の駅です。



農産物直売所・特産物売場には旬の農産物が豊富に並び、他には飯山の特産品やオリジナル商品が揃います。

「Café里わ」では地元食材にこだわったオリジナルメニューを楽しむことができます。

2023年秋には、アクティビティ拠点施設が新たにオープン予定です。



HPアドレス : <https://www.chikumagawa.net/>

信州道の駅交流会

信州道の駅交流会は、長野県内に52箇所ある道の駅運営者が連携し、地域活力の向上、信州の魅力アップ、持続可能な地域づくりを通じて、健全な運営を図ることを目的に、活動しています。

令和4年には、1年ぶりに県内の道の駅をめぐる「ARスタンプラリー」を8月から11月まで開催し、大勢の皆様にご参加いただきました。また、県営業局の信州ジビエ活用促進事業でジビエのメニュー開発にも取り組みました。

令和5年も、信州の道の駅が連携協働する楽しいイベントを企画していきます。詳しくは、下記ホームページへ。



おやき(鹿肉入り)



鹿革キーホルダー



鹿角キーホルダー

HPアドレス : <https://michinoeki-net.org/>

信州ふるさとの道ふれあい事業 (アダプトシステム)

蓼科区 信州ビーナスライン輝く道づくり

1. 活動内容の紹介

蓼科区はビーナスラインが縦断し、観光の重要道路です。

年に一度、区民一斉清掃、草刈りを実施。5月～9月は毎週観光協会が中心になり、ビーナスライン沿いを草刈り作業しています。

2. 活動団体のメッセージ

蓼科区は蓼科湖を中心にたくさんの観光スポットがあります。

北八ヶ岳ロープウェイ山頂の坪庭、聖光寺の千本桜、蓼科湖の紅葉。

蓼科大滝など沢山見どころ満載です。

ここに来られる皆様に快く過ごされるよう、ビーナスラインの清掃、草刈りを今後も活動していきます。



道路事業功労者表彰

長野県道路整備期成同盟会役員会 (R4.8.29開催) において、道路事業功労者表彰を行い令和4年度は、3団体が受賞されました。



ホクシン工業株式会社様 (松川町)

平成15年から主要地方道松川大鹿線において、草刈りやゴミ拾いなど安全確保と環境保全を目的とした道路環境美化作業を地域貢献の一環として継続して行っています。

花咲く村づくりの会様 (木祖村)

平成5年度から主要地方道奈川木祖線沿線等において、老人クラブ、木祖中学校、村内各自治会及び関係機関と協力し花壇の維持管理に努める他、小中学校の児童・生徒への生育指導・環境美化活動を行っています。

筑北村商工会様 (筑北村)

平成5年から地区内国道403号他沿線等において、草刈りや植栽整備などの道路環境美化作業を継続して行い、地域の景観づくりに大きく貢献した活動を行っています。

事務局だより

*以下の行事を行いました。ご協力ありがとうございました。

臨時会・講演会 (R4.11.8開催)



砂防会館別館「シェーンパッハ・サボー」(東京都)において臨時会を開催し、国土交通省道路局 長谷川朋弘 国道・技術課長を講師としてお招きをし、講演会を開催しました。

要望活動 (R4.11.9実施)



吉岡幹夫国土交通省技監



宮下一郎衆議院議員



若林健太衆議院議員



井出庸生衆議院議員



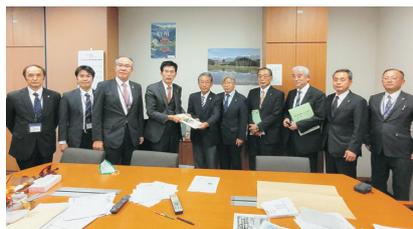
下条みつ衆議院議員



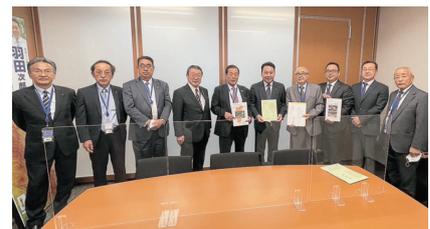
務台俊介衆議院議員



中川宏昌衆議院議員



篠原孝衆議院議員



羽田次郎参議院議員